

プレス発表資料

平成22年 3月12日
独立行政法人 防災科学技術研究所

「新しい公共」を支える情報プラットフォーム eコミウェアフォーラム設立記念シンポジウムを開催

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、地域社会の様々なコミュニティが共同した「新しい公共」による災害リスクガバナンスを支えることを目的として、リスクに関する情報の共有や課題解決力を育てるための情報プラットフォーム「eコミウェア*」を開発し、そのソースコードを一般公開しました。

さらに、eコミウェアの開発者および利用者のための情報交流コミュニティの形成を呼びかけ、eコミウェアの利用ノウハウや技術情報を共有し、広く社会に発信するオープンな場を目指した「eコミウェアフォーラム」を設立することとしました。

この度、eコミウェアフォーラムの設立に賛同いただいた方々の協力を得て、同フォーラムの設立記念シンポジウムを2010年3月24日東京国際フォーラムにて開催します。

1. 内容：別紙資料による。
2. 本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会

【内容に関するお問い合わせ】

独立行政法人防災科学技術研究所
災害リスク情報プラットフォーム
研究プロジェクト
リスク研究グループ
長坂 俊成、岡田 真也
電 話：029-863-7546

【連絡先】

独立行政法人防災科学技術研究所
企画部広報普及課
佐竹、山科
電 話：029-863-7783
F A X：029-851-1622

「新しい公共」を支える情報プラットフォーム e コミウェアフォーラム設立記念シンポジウムを開催

1. 開催趣旨

災害リスクに対する地域の防災力を高めるためには、地域社会の様々なコミュニティが協働して、災害リスクの管理、すなわち「災害リスクガバナンス」を、進めていくことが必要です。そのためには、平時より地域社会の様々なコミュニティが絆を形成し、「新しい公共」として、リスクに関する情報を共有し、課題解決力を育てる「リスクコミュニケーション」を推進することが重要となります。

そこで、防災科学技術研究所では、災害リスクガバナンスの視点から新しい公共とリスクコミュニケーションを支えるための情報プラットフォームの研究開発に取り組んでおり、昨年12月には、相互運用型 Web-GIS、CMS（コンテンツ管理システム）、SNS（ソーシャルネットワークサービス）などの機能を統合した「e コミウェア*」のソースコードを一般公開しました。

これを機に、e コミウェアの開発者及び利用者によるコミュニティの形成を呼びかけ、e コミウェアを社会の中で育み普及することを目的とした「e コミウェアフォーラム」を設立することになりました。このフォーラムは、e コミウェアの利用ノウハウや技術情報を共有し広く社会に発信するオープンな場を目指します。

このたび、当研究所では、e コミウェアフォーラムの設立に賛同いただいた方々の協力を得て、同フォーラムの設立記念シンポジウムを下記の要領にて開催することといたしました。

*) e コミウェアの詳細説明は補足説明資料をご覧ください。

2. 開催概要

主 催	e コミウェアフォーラム、独立行政法人 防災科学技術研究所
後 援	内閣府（予定）、文部科学省（予定）
日 時	2010年3月24日（水）13:30～17:00（開場 13:00）
会 場	東京国際フォーラム ホールD5（東京都千代田区丸の内3丁目5-1）
参加対象 （約100名）	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンテンツ管理システム(CMS)、ソーシャルネットワークサービス(SNS)、その他 Web アプリやメール等を利用したソーシャルウェアに興味がある方（開発者・サービスプロバイダ・利用者を含む） ・ 参加型地域コミュニティ Web サイトや地域住民の情報共有・活動支援ツールに興味がある方（開発者・サービスプロバイダ・利用者を含む） ・ 地域経営および地区自治、地域プロデュース、地域再生、市民協働、「新しい公共」といった取り組みに興味がある方
参加費	無料
参加申込	WEBによる事前登録制

参加申込先	http://bosai-drip.jp/ecom-plat/forum2010.htm
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. プログラム

時間	内容
13:30 ～13:40	開会の挨拶
13:40 ～14:00	基調講演「e コミウェアが目指すもの」 長坂俊成（独立行政法人防災科学技術研究所 リスク研究グループ長）
14:00 ～15:00	e コミウェア関連 ライトニングトーク （1人当たり5分間、10名程度によるe コミウェアを活用したアイデアや開発に関するショートプレゼンテーション）
15:00 ～15:30	コーヒーブレイク・交流会
15:30 ～17:00	パネルディスカッション 『新しい公共』を支える情報プラットフォームのマッシュアップ戦略（仮） ・パネリスト（敬称略・順不同）（一部調整中） 中村 圭吾（国土交通省河川局砂防部砂防計画課 課長補佐） 久保 正彦（佐用町役場まちづくり課 地域 SNS「さよっち」運営管理者） 増田 和順（ラヂオつくば社長、つくば市民レポーター編集会議事務局長） 藤倉 潤一郎（株式会社地域協働推進機構 代表取締役） 中川 守（株式会社 NTT ネオメイト取締役） 長坂 俊成（独立行政法人防災科学技術研究所 リスク研究グループ長） ・コーディネーター 臼田 裕一郎（独立行政法人防災科学技術研究所 主任研究員）

シンポジウムについての最新情報は、下記ウェブサイトにて逐次公開します。

<http://bosai-drip.jp/ecom-plat/forum2010.htm>

4. ご案内

「e コミウェア」の詳しい内容は、公式ウェブサイトまたは補足説明資料をご覧ください。

<http://bosai-drip.jp/ecom-plat/>

e コミウェアフォーラム設立準備会への参加は随時募集しております。詳しくは下記ウェブサイトにおいて最新情報を逐次提供いたしますのでご確認ください。

<http://ecom-ware.open-community.jp/>

e コミウェアについて

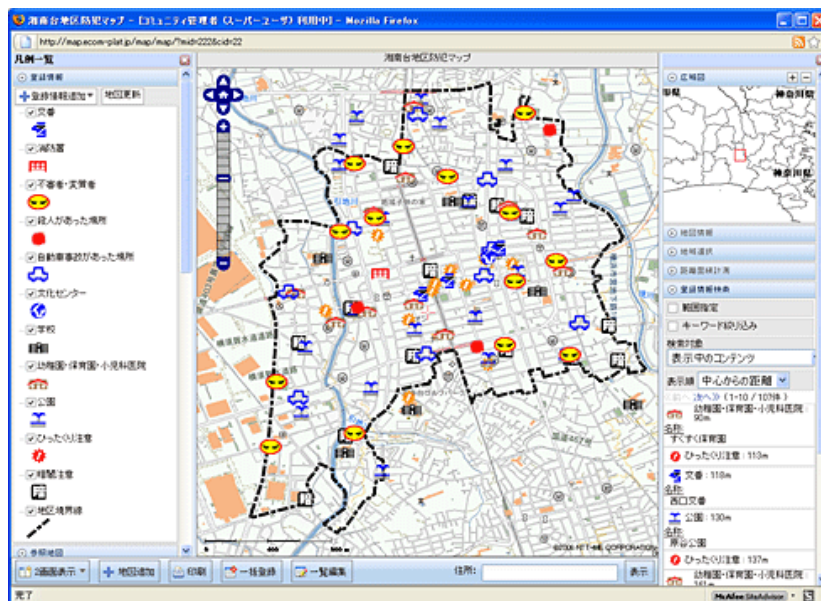
e コミウェアは、以下の、参加型コミュニティ Web システム「e コミグループウェア」、相互運用型ウェブマップシステム「e コミマップ」、マップ配信システム「相互運用 g サーバー」で構成されています。

■ e コミグループウェア



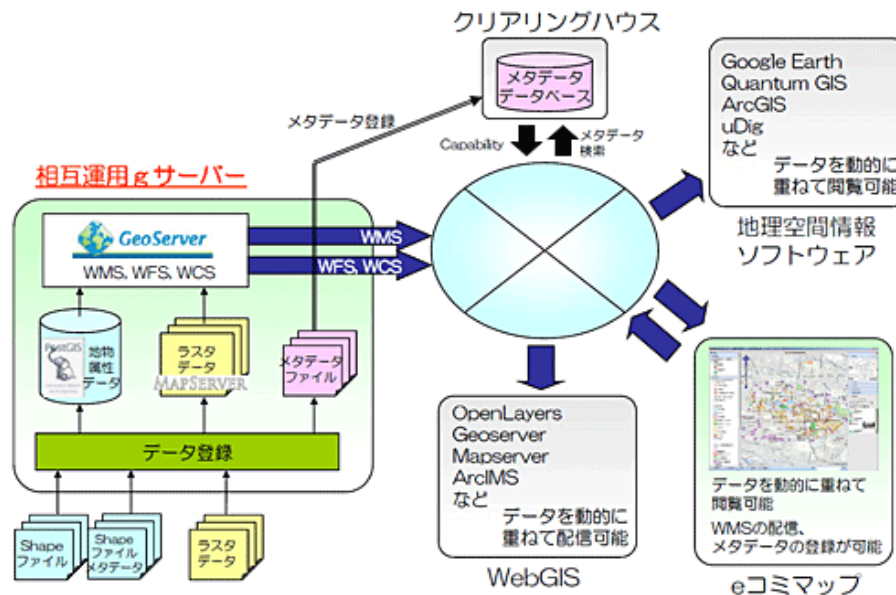
「e コミグループウェア」は、地域社会の新たな公共と地域経営を支える情報基盤を提供する、参加型コミュニティ Web システムです。Ajax 等の技術を用いて、平易で直感的なユーザーインターフェイスを搭載した CMS（コンテンツ管理システム）や SNS（社会的 ネットワークをインターネットで構築するサービス）を統合して提供します。

■ e コミマップ



e コミマップは、分散相互運用環境により、様々な主体によって提供される地理空間情報を参照しながら、個別地域の事情や特性を反映したオリジナルのマップを作成し、各種コミュニティの内外で共有することが可能です。e コミマップでは、従来の単方向的な地理空間情報の配信及び利用の方式を見直し、分散して存在する複数の情報を動的かつ統合的に活用できるようにするために、配信側のサーバーとともに利活用側のアプリケーションを合わせて提供します。

■相互運用 g サーバー



相互運用 g サーバーは、各種地理空間情報を国際標準に準拠した形式 (WMS、WFS、WCS) で、インターネット上に登録・公開・配信するシステムです。ハザードマップ等の地理空間情報を配信する自治体や、大量の地理空間情報を保有する様々な研究機関、大学、NGO/NPO 等で利用されることを想定しています。自然災害分野や防災分野に限らず、多様な目的に利用できます。一般的なGISデータがあれば、本サーバーに登録することで、容易に公開することが可能です。

※ サンプルサイトのご案内

e コミュニティ・プラットフォーム 2.0 (e コミグループウェアと e コミマップ) のサンプルサイトを公開しておりますので、是非お試し下さい。

<http://sample.ecom-plat.jp/>